

柏市立図書館資料除籍基準

(目的)

第1条 この基準は、柏市立図書館における図書館資料の除籍に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(基本方針)

第2条 書架の合理的な運営を図り、利用しやすい蔵書構成を維持するために、図書館資料の除籍を行う。

(除籍対象資料)

第3条 除籍の対象となる資料及びその基準は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 亡失

ア 資料点検の結果所在不明となった資料で3年以上所在不明のもの

イ 貸出資料のうち督促等の努力をしたにもかかわらず3年以上回収不能なもの

ウ 利用者が紛失、汚損又は破損した資料で現品での弁済が不可能なもの

エ 不可抗力による災害、その他事故などにより亡失したもの

(2) 不用

ア 汚損、破損が著しく、補修が不可能な資料で、同類資料のあるもの

イ 時間の経過によって内容が古くなり、資料価値のなくなったもの

ウ 利用が著しく低下し、新たな資料で代替できるもの

エ 不必要となった複本

(3) 数量更正

資料を分冊または合冊し、資料数が増減するもの

(除籍対象外資料)

第4条 次の各号に掲げる資料については、原則として除籍の対象としない。

(1) 地域資料で複本がないもの

(2) 入手が困難で、資料価値の高いもの

(除籍の決定)

第5条 除籍の決定は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 除籍にあたっては、除籍基準に基づき除籍資料の選定を行うものとする。

(2) 館長は、前号の選定結果に基づき除籍を決定するものとする。

(除籍処理)

第6条 除籍を決定した資料の処理は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 図書館資料マスターを抹消する。

(2) 除籍図書館資料明細書を作成する。

(3) 図書館資料の図書番号(バーコード)を抹消する。

(委任)

第7条 この基準に定めるもののほか、図書館資料の除籍に関する事項については、館長が別に定める。

附 則

この基準は、昭和59年3月1日から施行する。

附 則

この基準は、平成18年11月1日から施行する。